

# 岩手郡医報

昭和61年11月 No. 21

編集／発行

岩手郡医師会



不動の滝（安代町）

国道282号線の安代町荒屋新町の駅近くに、大きな看板と共に地上15.2mの鉄板による大鳥居（県下一）があり、そこから約3.3km奥へ入ったところにあるのが不動の滝である。

1562年、境内の松樹に桜の花が咲いて住民は驚き、遠近各地から結び神、恵運の不動として参詣する人が多く、このときから桜松神社と呼ばれたといい伝えられている。

高さ15mの雷のような水音とその飛沫の情景は勇壮と美的に心をうたれ、神氣爽快さを覚えます。昔から修験者（信者）の靈験場として、白装束に身を包んだ信者が、滝にうたれ体を清めたり、人によっては3日、7日、21日とそれぞれ神社に寝泊まりして断食修行を行って願い事を叶えたといわれています。

新緑の頃は滝の両側の深い緑が、また秋になれば樹々の紅葉が色鮮やかな真赤な橋によくマッチしてとてもきれいな光景となります。

駐車場より不動の滝まで（655m）の遊歩道もあります。

（嶋 信記）

## 行 事 関 係 報 告

### 理 事 会 報 告

◇昭和61年5月31日（土）於盛岡市橋又  
出席：宮杜、高橋牧、上田、根本、及川、  
佐藤郁、西島、高橋孝、瓜田、嶋、  
八角（敬称略）

#### ◦協議事項

1. 県医師会野球大会参加について  
本年は花巻市医師会の担当で、8月24日に  
行われる。
1. 生涯教育担当者会議報告（上田先生より）  
6月1日より6ヶ月間が試行期間として行  
われるので、開業医、勤務医とも各自県医師  
会宛に月初めに提出すること。  
月に5時間以上がのぞましい。

1. 第4回岩手県学校医大会について  
(高橋孝先生より)  
昭和62年1月18日に予定されており、演題  
を募集しています。

- (1) 学校検診に関するもの
- (2) 学校保健活動や組織づくり
- (3) 医師会活動としての学校保健
- (4) 学校保健教育に関するもの
- (5) 学校医に関するもの
- (6) その他

1. 県医師会総会参加について  
6月29日に東磐井郡千厩町にて開催される。  
当医師会からも多数の参加を希望する。

◇昭和61年7月18日（金）於盛岡市橋又  
出席：宮杜、近藤、高橋牧、上田、佐藤郁、  
坂井、高橋司、西島、瓜田、嶋、八角、  
高橋孝（敬称略）

#### ◦協議事項

1. 生涯教育の実態調査について  
グループで行っている医療懇談会、症例検  
討会などの実情、実態を知りたい。

1. 救急の日（9月9日）に関する行事について  
消防各分署、町村の保健課長との救急医療  
に関する懇談会の開催。

#### 1. 入退会者

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| 小林 仁（退会）→ 吉田雅美（入会） | 滝沢中央病院 |
| 伊藤禎二（退会）→ 福島県へ     |        |
| 孔 泰憲（退会）           |        |
| 長澤敏明（退会）           |        |

1. 第20回県医師会親善ゴルフ大会について  
当医師会と二戸、久慈医師会の担当で9月  
15日（敬老の日）に行われる予定であり、各  
都市医師会長宛に参加者募集の書類を発送す  
る。

◇昭和61年10月22日（水）於盛岡市橋又  
出席：宮杜、近藤、高橋牧、上田、根本、  
西島、及川、高橋孝、佐藤郁、瓜田、  
嶋、八角（敬称略）

#### ◦報告事項

1. 県医理事（高橋牧先生）より報告
1. 県民健康講座について  
本年度は葛巻町にて開催。会場は葛巻町保  
健センター。昭和62年1月28日（水）より2  
月25日（水）まで5回に亘って行われる。

1. 学校医、町村代表者、養教の合同研修会の  
開催について

1. 岩手医学会秋季総会の参加について  
当医師会の参加者は13名以上が望ましい。  
11月16日（日） 県医師会館にて開催。

1. 日本医学会への参加について  
昭和62年4月4日～6日まで東京において  
開催される日本医学会への参加。当医師会割  
当6名。

1. 産業医講習会への参加について  
11月15日 県医師会館にて開催

## 事務局だより

- 5月2日 県医会長より  
第1回学校医部会幹事会開催について  
高橋孝先生 5月17日出席
- 5月8日 県医会長より  
各都市医師会生涯教育委員会委員の設置について
- 5月9日 県医会長より  
保育所等における乳幼児健全育成相談事業の実施について
- 5月10日 岩手郡・紫波郡・盛岡市医師会懇談会
  - 1. 看護学院について
  - 2. 自己地区災害時における対応について
  - 3. 学校医について
  - 4. 所謂『お客様、職員送迎車』の現状について
  - 5. その他
 出席者：高橋牧、佐藤、根本、西島、高橋孝、宮杜
- 5月19日 岩手県環境保健部長より  
つつがむしの発生と予防対策について
- 5月20日 岩手保健所長より  
在宅当番医制参加施設調査あり 報告する
- 5月21日 第二グループ保険加入促進について
- 5月23日 盛岡保健所長より  
つつがむし病発生について
- 5月26日 花巻市医師会長より  
第38回岩手県医師会野球大会開催について
- 5月31日 県医会長より  
国保の医療費通知に対する対応策について
- 6月2日 県医会長より  
産業医契約書について
- 6月2日 県医会長より  
『保健所における精神科通院医療中断者保健サービス事業の実施』並びに「精神障害回復
- 者等に対する職場適応訓練の実施に関する協力依頼について」
- 6月2日 県医会長より  
第16回岩手県医師会親睦海釣り大会について  
当医師会 不参加
- 6月4日 県医会長より  
第38回岩手県医師会総会に於ける表彰受賞者について  
61. 6.29 上野精三先生受賞
- 6月5日 県医会長より  
精神科作業療法の施設基準に係る承認の取扱いについて
- 6月7日 盛岡保健所長より  
日本医師会労災、自賠責委員の答申者送付について
- 6月12日 県医会長より  
公益法人実態調査の実施について（依頼）  
山崎事務長出席
- 6月17日 県医会長より  
会員種別異動について  
森 茂尚先生 B→C
- 6月19日 県医会長より  
岩手県特定疾患治療研究事業実施要綱の一部改正について
- 6月20日 県医会長より  
寝たきり老人訪問指導管理料算定期間中における再診料の算定について  
厚生省が行う昭和61年度国民健康保険医療費適正化特別対策について  
県医裁判委員 大堀 勉先生選任
- 7月3日 県医会長より  
保険請求事務の簡素化について
- 7月5日 医師信組理事長より  
新規加入会員についてのお願い
- 7月5日 県医会長より

- 都市医師会における生涯教育の実状調査について
- 7月16日 県医会長より 救急の日及び救急医療週間の実施に対する協力願いについて
  - 7月21日 県医会長より 医療法の一部改正に伴う社会保険等診療報酬点数表関連告示の一部改正について 高度先進医療の承認について 診療報酬点数表に関する実施上の留意事項について
  - 7月28日 県医保険担当理事より 一般、皮膚科処置及び湿布処置点数表の送付について
  - 8月5日 日医会長より 救急医療体制実態調査のご協力方お願い このアンケートについて後日及川理事作成、提出。
  - 8月12日 大館市北秋田郡会長より 役員等の報酬並びに退任慰労金について（照会） この件につき 宮杜が報告
  - 8月13日 県医会長より 医薬品副作用被害救済制度について
  - 8月18日 県医保険担当理事より 社保関係診療報酬の一部送金変更について
  - 8月25日 日医会長より 第8回全国医師会病院、臨床検査センター総会の開催について
  - 8月25日 県医会長より 第4回岩手県学校医大会における演題の募集について
  - 8月27日 県医会長より 昭和61年度の医療監視及び経営管理指導の実施について
  - 9月6日 県医保険担当理事より 健保及び国保医療費（特に査定減額分）の通知附記について
  - 9月13日 予防医学協会長より 61年度児童生徒の諸検査、検診に関する打合せ会議について 高橋孝先生 10月29日出席
  - 9月18日 県医会長より 第2回健康教育委員会開催について 八角理事 9月27日出席
  - 9月25日 県医会長より 労災保険療養の費用システムに係る協力依頼について
  - 9月27日 県医会長より 第20回都市医師会事務連絡会の開催について 山崎事務長 10月24日出席
  - 9月29日 県医会長より 優生保護法指定医更新の届出集約依頼について
  - 9月30日 県医会長より 有機溶剤取扱者の特殊健康診断実施について 第22回日本医学会総会への参加方について
  - 10月1日 岩手県林業水産部長より 振動障害医師研修会の開催について
  - 10月1日 江刺市医師会会长より 休日、時間外診療状況調査について
  - 10月3日 県医会長より 昭和61年度日本医師会医学講座開催について
  - 10月13日 盛岡保健所長より 盛岡地域保健医療協議会委員の推薦依頼について 近藤純造、宮杜 亨 推薦。
  - 10月14日 県医会長より 非ステロイド性消炎鎮痛剤の再点検結果について
  - 10月16日 県医会長より 身体障害者の障害の範囲の拡大等について
  - 10月17日 県医会長より 昭和61年度都市医師会地域医療担当理事連絡協議会の開催について

- 高橋牧之介先生 出席 ◦ 10月28日 県医会長より  
◦ 10月23日 予防医学協会長より 老人保健施設に関する意見について  
健康管理活動に関する市町村、農協担当部課  
長合同会議について 看護の給付の取扱い及び看護料の支給基準の  
改正について  
宮杜 先生 出席 A I D S および A T L 抗体検査の実施につい  
て  
◦ 10月27日 県医会長より 第39回勤務医部会幹事会並びに久慈医師会地  
区勤務医部会会員懇談会開催について ◦ 10月30日 県医会長より  
第4回岩手県学校医大会の演題募集について

\*\*\*\*\*

### 「救急医療を考える」講演会

救急医療週間にかんがみ地域医療の一環として管内消防署長、支署長、郡内町村保健課長を  
交えて郡医師会役員とともに救急医療懇話会が開催された。

とき 昭和61年10月4日

ところ 盛岡市 ホテルロイヤルモリオカ

講師 岩手県医師会常任理事 桜井末男先生

演題 『救急医療を考える』

主な講演要旨は、

#### A. 救急医療の特性

1. 救急医学
2. 法的問題
3. 搬送問題
4. 二本建て救急病院
5. 医師の世代交代
6. 救急医療と経済
7. 急患心理

#### B. 岩手県の救急医療

1. 岩手県の地域特性
2. 体制整備
3. 搬送規定
4. 救急医療情報システム
5. 県境救急
6. 集団災害対策

#### C. 青森・岩手両県救急医療懇談会の話題から

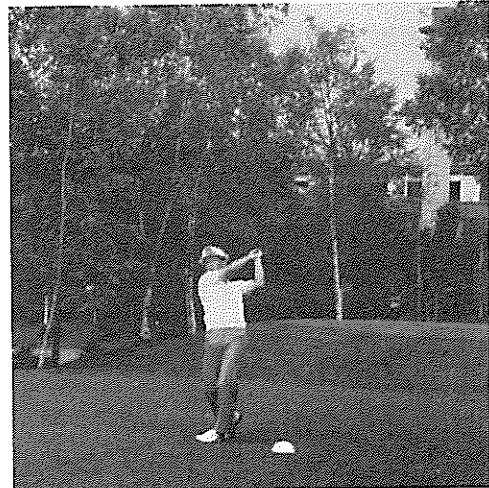
\*\*\*\*\*

## 岩手郡団体で初優勝

## 第20回県医師会ゴルフ大会



ゴルフ大会表彰式 於南部富士C.C

会場の南部富士C.C(姫神山コース  
1番)でティショットする土谷邦彦  
先生

## 第20回岩手県医師会親善ゴルフ大会成績

(敬称略)

## ◇団体の部 (各郡市の上位5名のグロス合計)

優 勝 岩手郡医師会 410ストローク

準 優 勝 盛岡市医師会 411ストローク

第 1 位 花巻市医師会 412ストローク

## ◇個人の部

◦壮年の部……岩手郡出場者なし

◦青年の部

|      | 岩手山 | 姫神山 | 北上川 | グロス | ハンディ | ネット  |
|------|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 八角正司 | 43  | 46  |     | 89  | 13.2 | 75.8 |
| 中村義孝 | 52  | 48  |     | 100 | 20.4 | 79.6 |
| 坂井博毅 |     | 37  | 40  | 77  | 2.4  | 74.6 |
| 土谷邦彦 |     | 41  | 40  | 81  | 7.2  | 73.8 |
| 佐藤郁郎 |     | 48  | 44  | 92  | 12   | 80   |

## ◦少年の部

|      |    |    |    |     |      |      |
|------|----|----|----|-----|------|------|
| 佐藤尚孝 | 41 | 43 |    | 84  | 9.6  | 74.4 |
| 及川忠人 | 55 | 47 |    | 102 | 20.4 | 81.6 |
| 土谷正彦 | 47 | 44 |    | 91  | 14.4 | 76.6 |
| 嶋信   |    | 38 | 41 | 79  | 7.2  | 71.8 |
| 高橋司  |    | 48 | 46 | 94  | 21.6 | 72.4 |

## ◦レディースの部

|      |    |    |  |    |      |      |
|------|----|----|--|----|------|------|
| 坂井洋子 | 48 | 43 |  | 91 | 15.6 | 75.4 |
|------|----|----|--|----|------|------|

## 〔大 会 記〕

前夜来の雷雨も止み、好天に恵まれた敬老の日の9月15日に、西根町大更地内南部富士C.Cにおいて、第20回岩手県医師会親善ゴルフ大会が県内各地よりゴルフ愛好の会員及び家族総勢138名の参加を得て行われた。

この大会は、二戸、久慈の各医師会の協力をいただきて岩手郡との共同担当で、過去第8回大会（昭和49年）、第14回大会（昭和55年）について3回目の担当となり、特に会場が西根町ということもあって、岩手郡内のゴルフ愛好の諸先生が準備にあたった。

当初予定していた竜ヶ森G.Cは、本年4月より「安比レック」と社名変更に伴い、ゴルフプレーヤーの受け入れに関して厳しく規制され、県医師会大会は御引き受けできない旨連絡があり、急拠南部富士C.Cに変更されたものである。

ゴルフは、ハンディ競技であり、各クラブのメンバーになっている人はそれぞれハンディ（オフィシャルハンディ）をもっているが、ハンディをもっていない人もいるため査定方法に困る場合もあり、そのためにホールアウト後にその日のスコアをもとにハンディを決める方法がいろいろあり、今回はダブルペリア方式（基準となるホールをプレーヤーには秘密にしておく方法）を用いたため、運の良し悪しが決め手となることもあり、各自のオフィシャルハンディとは関係なく組合せが行われ、老若男女入り乱れ、それぞれのコースに別れて、午前7時30分より7分おきにスタートを開始した。最終組は午前9時前後であった。

午後4時前後には最終組も上り、係員により成績集計が行われ、既にプレーを終えて、風呂に入って心地よい汗を流した後、クラブハウスの二階の懇親会場では、ビールやらジュース、酒などをお互いにくみ交わしながら、談笑のひとときをすごしたあと表彰式が行われた。

八角正司先生の開会の辞で始まり、大会会長挨拶に先立ち、今回第20回を記念して三浦新也大会会長に白の素敵なブレザーコートが大会運営委員長の土谷邦彦先生よりプレゼントされ、三浦会長は御機嫌であった。大会運営委員長より今大会開催までの経過説明があったあと、坂井博毅競技委員長より成績発表があった。

団体の部では、我が岩手郡チーム（グロスの上位5名、坂井、嶋、土谷、佐藤（尚）、八角の各先生）は、地元の面目にかけて各自奮闘努力し、20回大会にして初めての優勝を飾り、代表の土谷邦彦先生に優勝旗が三浦大会会長より手渡された。

今までの上位5名のネットスコア合計ではなく、グロススコア合計となつたため準優勝の盛岡市医師会とは1点差、また第1位の花巻市医師会ともまた1点差という僅差の優勝であった。

我がチームは、エースのシングルプレーヤーの坂井、土谷両先生の活躍はもとより、各先生方もベストを尽して頑張った成果と思われます。

例年の大会には、参加者も限られており、今回多数の郡内の先生方の参加を得て心強い限りで、今後の明るい見通しでもあり、二連勝、三連勝へむけて頑張りたいと考えます。特に今まで団体の部は殆んど盛岡市医師会の独占だったのでなおさらである。

個人の部では、レディースの部で坂井洋子さんがグロス91、ネット75.4で準優勝を獲得、少年の部で嶋信のグロス79、ネット71.8のスコアで第2位が上位入賞者であった。又、少年部ベストグロスは同点ではあったが年令差で負けてしまった。

次期開催地は紫波郡医師会の担当で、来年9月15日を予定していますとの代表の挨拶があり、昭和63年度の第22回大会は、宮古・釜石両医師会の担当で開催予定である。また都合のつく方々の多数の参加を希望します。

何分にも好天に恵まれて盛会裡に進行したことは、会員諸先生の熱い友情と日頃の御精進の結果であり、また御協力の賜物であって深く感謝申し上げます。また大会の運営にあたり準備に御多忙にも拘らず御協力いただいた西根町土

谷病院の事務局の方々、また受付から集計まで誠心誠意御協力いただいた南部富士C.C.の皆様及び県医師会の諸氏に感謝申し上げますとともに、御協賛いただいた関係諸氏に深く御礼申し上げます。

(嶋 信記)

## 第38回県医師会野球大会始末記

近藤純造

花巻医師会が当番の第38回県医師会野球大会は、昭和61年8月24日開催された。午前8時20分開会式があり花巻市医師会の狩野選手の宮沢賢治風のユーモラスな選手宣誓などあり、和やかな雰囲気を醸し出して閉会となり、熱戦の火蓋が切って落とされた。我が岩手郡チームは初戦は中央病院Aチームに8A対2で圧勝したが、続く第2戦では強豪の宮古医師会に10対1で敗れた。

試合経過は次の如くである。

第1戦（相手は中央病院Aチーム）

|        | 1 | 2 | 3 | 計  |
|--------|---|---|---|----|
| 中央病院 A | 0 | 0 | 2 | 2  |
| 岩手郡    | 4 | 4 | A | 8A |

両軍の先発メンバーは

| 中央病院Aチーム |     | 岩手郡チーム |     |
|----------|-----|--------|-----|
| 1 遊      | 石川  | 1 三    | 嶋   |
| 2 一      | 鎌田  | 2 捕    | 高橋克 |
| 3 投      | 佐藤治 | 3 遊    | 篠村  |
| 4 捕      | 吉田司 | 4 一    | 高橋司 |
| 5 三      | 鈴木孝 | 5 投    | 岡田  |
| 6 二      | 飯田  | 6 二    | 西島  |
| 7 左      | 後藤  | 7 左    | 上原  |
| 8 右      | 野口  | 8 中    | 吉田  |
| 9 中      | 石川  | 9 右    | 佐々木 |

### ※試合経過

1回表：中央病院の攻撃、我が軍のエース岡田好調なスタートを切り、先頭打者を三振に討ち取り、2番打者鎌田三飼だったが一塁手エラーで出塁二盗を決め、3番佐藤三飼で二死、4番吉田が左前安打で出塁したが、続く5番の鈴木を三振に討ち取り無難なスタートをきった。

1回裏：我が軍の攻撃は先頭の斬り込み隊長の嶋、シュアなバッティングを見せ左翼越えの二塁打で出塁、初参加の高橋（克）四球を選び、

この好機に篠村の遊飛を相手がエラー、戸惑っている内に嶋生還、先得点を挙げる。4番期待の主砲高橋（司）遊飛で一死となったが、岡田左前に好打し高橋生還、続く西島左中間を破る痛烈な二塁打を放ち篠村、岡田と相次いで生還、上原三振、吉田遊飛でチェンジとなつたが大量4点を挙げ優位に立つ。

2回表：先頭の飯田を一飛、佐藤が三塁内野安打で出塁したが、続く野口投捕で佐藤が二塁で

封殺、石川三振で無得点に抑えた。

その裏、我が軍の先頭打者佐々木の投捕を一塁が後逸、嶋再度左越えの二塁打を放ち、佐々木生還、高橋（克）の左翼線安打、篠村同じく左翼安打、高橋（司）中前安打と集中攻撃、岡田投飛、西島右前安打と我が軍の猛打熾烈を極めたが上原投捕、吉田三振でチェンジ。しかしこの回大量4点をあげ大勢をほぼ決した。

3回表：中央病院チームの攻撃、この回先頭の石川三振、鎌田四球で出塁、佐藤の三捕を一塁が後逸、吉田三捕の間に鎌田生還、鈴木の中飛を目測を誤り、佐藤が生還、2点を還されたが飯田三捕で時間切れ、試合終了となり8A:2で快勝した。

※第2戦（相手は宮古医師会チーム）

|       | 1 | 2 | 3 | 計  |
|-------|---|---|---|----|
| 宮古医師会 | 6 | 4 | 0 | 10 |
| 岩手郡   | 1 | 0 | 0 | 1  |

両軍の先発メンバーは

| 宮古医師会 |     | 岩手郡医師会 |     |
|-------|-----|--------|-----|
| 1 中   | 柴野  | 1 三    | 嶋   |
| 2 投   | 及川  | 2 捕    | 高橋克 |
| 3 三   | 小野寺 | 3 遊    | 篠村  |
| 4 遊   | 坂下  | 4 一    | 高橋司 |
| 5 左   | 熊谷  | 5 投    | 岡田  |
| 6 一   | 内田  | 6 二    | 西島  |
| 7 二   | 高橋  | 7 左    | 上原  |
| 8 右   | 関根  | 8 中    | 吉田  |
| 9 捕   | 佐々木 | 9 右    | 佐々木 |

※試合経過

1回表：宮古の攻撃、第1戦を勝ちとて充分の休養を取らずに不戦勝の宮古と対戦というハンデもあり、先発投手の岡田球道が定まらず、先頭打者の柴野を四球で出塁させ、二盗後2番の及川に左翼越えの二塁打され、柴野生還して1点先取された。3番の小野寺を一捕、4番の



坂下三塁の内野安打で三盗していた及川生還、5番熊谷遊撃内野安打、6番内田が左中間を破る二塁打、7番の高橋が中前安打、続く8番関根、左前安打と連打され9番佐々木、遊捕一塁手これを後逸、大量6点を先取された。しかも一死一、二塁でピンチが続いたが、打者一巡し柴野の打球は痛烈なライナーとなってセンターを襲ったが、今年岩手郡のメンバーとなった吉田これを好捕し、すかさず二塁に送り、離塁の大きかった走者の関根をダブル・プレイ、失点を6点に食い止めた。

その裏、我が軍の反撃もこれ又凄まじく、切り込み隊長の嶋、左中間を破る二塁打、続く高橋（克）中前にライナー性の安打、続く篠村も負けじと左翼線に痛打し、嶋が生還1点を返し、尚無死二、三塁で大量得点のチャンスを迎えたが期待の大型打者4番高橋（司）フルカウントから三振に倒れ、5番の岡田よく四球を選び尚一死満塁のチャンス、六番好打の西島に期待がかけられたがきわどいカーブを見逃しの三振、続く上原遊捕で三者残塁し、我が軍の得点は1点に終わった。

2回表：宮古の攻撃、この回先頭の及川を三振に討ち取ったが小野寺右前安打で二盗、坂下遊捕失、熊谷中前安打、内田左翼線二塁打、高橋三振で二死、関根が左中間を破る二塁打で大量4点を奪われた。その裏、我が軍の攻撃で先頭

の吉田三振、佐々木遊飼、嶋が死球で出塁したが、高橋（克）の代打根本三振で無得点。

3回表：宮古チームの攻撃を迎えて我が軍は佐藤、根本のバッテリーとなる。先頭の柴野右飛、及川が四球で出塁二盗、小野寺死球で又もやピンチを迎えたが、こちらのちょっとしたミスに三塁に走った及川を落ち着いたプレイで狹殺、4番坂下を三飛に仕留め無得点に抑えたのは見事であった。

その裏、我が軍はクリーン・アップから始まる打線に期待したが、篠村、高橋（司）共に三塁、岡田の左翼を襲ったいい当たりも好捕され万事休し10対1で敗退した。

尚、各薬店の有志に依って結成された我がチームの特設応援団の応援が大会に花を添えた。



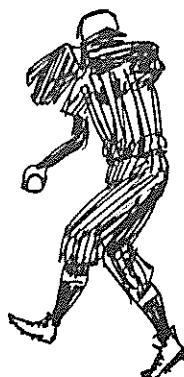
試合終了後、花巻温泉「紅葉館」の懇親会に臨み、午後2時50分帰途についた。

今大会の総評としては、第1、2戦を通じて特に目立ったのは嶋選手の猛打で4打席一死球、3本の二塁打、10割の活躍であった。

しかし一方では、我が軍の「戦鑑大和」とも言える期待の高橋（司）の46cm砲が好機に火を吹かなかったのも誤算のひとつであり、「戦鑑武藏」（遠藤）の欠場も残念であったが、新人高橋（克）、吉田の活躍が光り、来年度の大会が楽しみである。

（編集部より追加）

試合中特設応援団の方々は日頃御世話になっている各薬店の有志であり、今年大きな「ノボリ」を新調し、ベンチ上ではチアガール(?)の踊りに合せて各選手に声援を送っていた。誠に感謝、感謝。他チームにはみられない応援風景であった。



### 宮杜先生、文部大臣表彰 全国学校保健研究大会にて

文部省では長年にわたって学校保健に功労のあった小、中、高校関係者の文部大臣表彰がこのほど行われ、郡医師会長の宮杜亨先生は県内二人の表彰者の一人として10月24日宇都宮市で開かれた全国学校保健研究大会で表彰された。

先生は昭和31年に零石町御明神診療所に就任されて以来、御明神小、橋場小など零石町内の学校医として、健康診断や事後指導、健康相談など児童の健康管理に尽力した。

## 二代目会長 故田口 博先生の思い出

上野 精三

故田口博先生は秋田県仙北郡生保内村（現田沢湖町）の出身で、昭和3年東京医学専門学校（現東京医大）を卒業、一時期兄と一緒に盛岡市仁王通り（現内丸通り）にて開業されて居りました。

昭和5年当時、零石村、西山村、御明神村、御所村の四ヶ村にて零石村に共立隔離病舎を作つて居られましたが、何分伝染病患者（主として赤痢、腸チフス等の消化管伝染病）が発生しても隔離病舎が設置せられてあるも、附近に医師なき為患者が発生すると盛岡市内医療機関に入院する為隔離病舎は空き家となつて居りました。この空き家を整備の上田口先生が開業された次第です。

以来約41年間広い四ヶ村（昭和15年より1町3ヶ村となり、ついで昭和30年より零石町となる）の広い地域に只一人の医師（外に老齢の方一人あり）として昼夜の別なく診療に、往診に、学童の検診に努力せられました。

先生は、旧制医師会より新制医師会に移行せられ、新制医師会結成時は役員就任を辞退せられて居りました。

昭和31年初代会長小野寺先生勇退の後を引継がれ二代目会長となり、昭和42年当医師会が担当せられた第19回岩手県医師会親睦野球大会を鶴宿温泉グランドで開催し、無事終了の上勇退され、三代目会長故佐藤尚輔先生に引継がれた訳です。

先生は政治に関係されて居られました。私も先生の影響？で政治の味を多少覚えた訳です。先生の奥様は古い時代の代議士で農林大臣とか衆議院議長をなされた故田子一民先生の姪にあたられ、その関係で故田子一民先生、現参議院

議員岩動道行先生の選舉に際しては大変奮斗せられて居られました。

多忙な中に色々と行事に關係せられた先生の敢斗は今でも思ひ出されます。

又、私達医師として忘れてならない先生の御功績を御紹介申し上げます。

それは昭和20年代後半の出来事です。

各町村は国民健康保険を実施いたしましたが、医療機関に対する国保の医療費の支払いが早くて3年、普通で3年、遅いのは7～8年と云う状態の時でした。

※偶る3月の所得税の納付期限が3月15日でしたが先生は決する処ありて5月になつても納付しないで居りました。

ある日、税務署の職員が先生の処に参られて、税務署の職員曰く、

先生、所得税が未納になつて居りますがなんとか納めていただきたい、と  
田口先生曰く、

役場で国保の診療費を6年払ってくれないので納められない、と

税務署の職員曰く、  
それでは役場が先生支払分国保の医療費を差し押えしてよいですか、と  
田口先生曰く、

どうぞどうぞ差し押えて下さい、と  
税務署の職員曰く、

それでは差し押えいたします。  
只、全部差し押えて日常の生活にお困りになりませんか。

田口先生曰く、  
いやいや全く困らない。  
婆様と二人で1日米5合あればよい。又、

No.21 (昭和61.11月)

## 二代目会長 故田口 博先生の思い出

上野 精三

故田口博先生は秋田県仙北郡生保内村（現田沢湖町）の出身で、昭和3年東京医学専門学校（現東京医大）を卒業、一時期兄と一緒に盛岡市仁王通り（現内丸通り）にて開業されて居りました。

昭和5年当時、零石村、西山村、御明神村、御所村の四ヶ村にて零石村に共立隔離病舎を作つて居られましたが、何分伝染病患者（主として赤痢、腸チフス等の消化管伝染病）が発生しても隔離病舎が設置せられてあるも、附近に医師なき為患者が発生すると盛岡市内医療機関に入院する為隔離病舎は空き家となって居りました。この空き家を整備の上田口先生が開業された次第です。

以来約41年間広い四ヶ村（昭和15年より1町3ヶ村となり、ついで昭和30年より零石町となる）の広い地域に只一人の医師（外に老齢の方一人あり）として昼夜の別なく診療に、往診に、学童の検診に努力せられました。

先生は、旧制医師会より新制医師会に移行せられ、新制医師会結成時は役員就任を辞退せられて居りました。

昭和31年初代会長小野寺素行先生勇退の後を引継がれ二代目会長となり、昭和42年当医師会が担当せられた第19回岩手県医師会親睦野球大会を鶯宿温泉グランドで開催し、無事終了の上勇退され、三代目会長故佐藤尚輔先生に引継がれた訳です。

先生は政治に関係されて居られました。私も先生の影響？で政治の味を多少覚えた訳です。先生の奥様は古い時代の代議士で農林大臣とか衆議院議長をなされた故田子一民先生の姪にあたられ、その関係で故田子一民先生、現参議院

議員岩動道行先生の選舉に際しては大変奮斗せられて居られました。

多忙な中に色々と行事に関係せられた先生の敢斗は今でも思ひ出されます。

又、私達医師として忘れてならない先生の御功績を御紹介申し上げます。

それは昭和20年代後半の出来事です。各町村は国民健康保険を実施いたしましたが、医療機関に対する国保の医療費の支払いが早くて3年、普通で5年、遅いのは7～8年と云う状態の時でした。

毎々3月の所得税の納付期限が3月15日でしたが先生は決する処ありて5月になつても納付しないで居りました。

ある日、税務署の職員が先生の処に参られて、税務署の職員曰く、

先生、所得税が未納になって居りますがなんとか納めていただきたい、と

田口先生曰く、

役場で国保の診療費を6年払ってくれないので納められない、と

税務署の職員曰く、

それでは役場が先生支払分国保の医療費を差し押えしてよいですか、と

田口先生曰く、

どうぞどうぞ差し押えて下さい、と  
税務署の職員曰く、

それでは差し押えいたします。

只、全部差し押えて日常の生活にお困りになりますか。

田口先生曰く、

いやいや全く困らない。

婆様と二人で1日米5合あればよい。又、

味噌汁の実は家の周りの「ワラビ」でも採って食ふから大丈夫だよ、と

以上の様な会話のあと税務署の職員が役場に立ち寄り、出納室（収入役室）の国保関係の書類を全部持って行かれた訳です。

翌日より収入役が職員2名と共に各自「リュックサック」を持参の上朝7時0分の汽車で盛岡市の税務署に行き、借用証を入れて書類を一時借用し10時の汽車で帰って執務する訳です。午後は3時の汽車で又書類を持って税務署に届ける訳です。

この様なことが約10日程続いて役場でも毎日の執務に困った次第です。

その後この問題が大蔵省から厚生省に連絡されました。厚生省から県を通じ各町村に対し、国民健康保険の医療費は7, 11, 3月の所得税の納付月には納付に差し支えない様支払ふ様にと通知がありました。

只、厚生省の所得税の納付に差し支えない様支払えとはいさか私共疑問を感じました。

只厚生省も国民皆保険を実施したけれど保険料の納付が意の如くならざるを承知して居た様です。

この田口先生のとった方法を翌年山形県？の

医師会のA会員が全員で実施したとのことをきました。

今日私共、例えば4月診療分を5月10日迄に国保連に出し、6月末に間違いなく受領して居りますが、この事実は田口先生が作られたと思われます。今の若い開業医の先生方、故田口先生に感謝しなければなりませんよ。

この様な奇抜なことをなされた先生でしたが、後年（昭和46年）病気となられ東北大学病院に入院なされた際、床中にて付添いの家族に、

先生曰く、

晒し粉の入らないお茶を呑みたい、とそこで町内の先生のお世話をなされた方が毎日先生宅の井戸水を自動車で届けた訳です。今のような高速道路のない時代です。

先般御長男の尚先生が仙台で亡くなられ、49日の法要を盛岡にて行なわれた際葬儀並びに法要に参列し、故尚先生と共に父上の故博先生を色々と思ひ出し、ここに二代目会長の思ひ出として記載した次第です。

故田口先生、御長男の尚先生の靈の安らかに眠られんこと御祈りいたします。

7月の雨の日。

## 編集後記

・表紙写真は郡内各地の名所、その他スナップなどありましたら簡単な解説を加えて、郡医師会事務局までお寄せ下さい。

・今回は第二支部の担当で編集されましたが、県医師会主催の行事（野球大会、ゴルフ大会）があり、その内容記事となりました。参加された先生方の御健斗まことに御苦労様でした。

また次期開催地（野球大会は江刺市、ゴルフ

大会は紫波郡担当の予定）での御活躍を期待します。

・今後とも皆様の趣味に関すること、日常診療で気づいたことなどぜひ投稿していただければ幸いと思います。

・次回は第三支部の担当で企画編集される予定です。よろしくお願ひ申し上げます。

(M・S)